

W

求められる人材を探る
プロフェSSIONALS

1990年代、ゲストハウスの進出にともない“宴会・婚礼承り係り”から“ウエディングプランナー”に呼び名が変わり、女性たちの人気職種として一気に浮上した。会計上も宴会部門から切り離され単独で収支を算出されるようになった。ウエディング華やかところはそれでも十分に通用したが、全国的に業界が低迷。ウエディングプランナーの精神的、労働的な負担はますます重くなっている。今後もお環境の変化が著しい中、プロフェSSIONALとして正しい知識を身につけるとともに常に時流をとらえた情報発信や新たな資格制度の確立など、絶えず変化する協会運営に挑んでいるのが、ABC協会 小原義之代表だ。

福永 ウエディングに携わる者の基本的な知識を身につけるためのABC協会のブライダルプランナー検定は、専門学校や大学、ビジネススクールで浸透、定着されていていらっしゃるようですね。始めにこのABC協会とのかかわりなど経緯をお聞かせいただけますか。

小原 2001年に渋谷にある専門学校から“業界で本当に求められる人材育成”について相談を受けたことに始まります。ブライダル業界はゲストハウスの進出にともない、ホテルの宴会担当者とは異なる専門職としての技術や感性を求めています。基本的な知識はもちろんのこと、感性・人間性、接客対応能力などさまざまな角度からみて有能な人材です。相談を受けたとき、まずは現場を知る生きた授業をしてくださる講師陣をそろえるべきと提案し、私が全講師を改めて手配させていただきました。同じころ、ABC協会の資格をすでに米国で取得されていた広島ドレス取引先専務からはABC協会の教育プログラムや資格を学校に導入する提案をいただいたのです。

福永 アメリカはまさにパーティーの本場です。宴会ビジネスの延長ではないソウ

空間や商品だけではなく プランナー自身もセールス することが求められる時代に



(株)フェイス 代表取締役
福永 有利子 氏

レストラン・ゲストハウスのウエディングプランナーから各現場の管理職としてマネジメントを担い、確実に業績を伸ばしてきた。2003年にウエディングプランナー養成スクール講師をはじめ、06年より大学にて非常勤講師として教壇に立ち、現在も教鞭を執っている。06年堂島ホテル婚礼部長に就任、その後08年同ホテル副総支配人に昇任。09年には(株)フェイスを設立し、代表取締役役に就任。現在は、ホテル・ゲストハウスを主に成約率向上を目的としたトレーニングや集客戦略立案・実践支援などのコンサルティングに加え、ウエディング全般にわたる支援を行なっている。著書・ウエディングプランナーじゃない、アカンのは上司や! 悩める管理職のアメムチ19の育成術

ハウや技術の宝庫ですね。

小原 ご存じのとおり、アメリカではウエディングプランナーは一つの職種として確立されています。日本もホテルや式場に限らずさまざまなステージで自由な結婚式が求められることが予測でき、本場アメリカで生まれ、世界中にネットワークを有する最大規模かつ国際的に最も権威のある協会はグローバルな人材育成には最適ではないかと考えました。広島取引先専務からも地元の専門学校について類似する相談を受けたことから、日本の学



全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会)
アジア統括代表、協会認定マスター・ウエディングヴェンダー / (株)ソフィア通商 代表取締役

小原 義之 氏

1992年欧米ウエディングドレスメーカーの輸入代理店としてドレス・メンズの輸入卸販売をスタートし、またドレス直営店を4店舗経営する。その後、ブライダル専門商社業務に特化し、現在は全国の衣裳店・会場へ欧米やアジア工場生産のドレス・メンズ、資材等の仕入れ仲介、また日本・欧米ドレスメーカーの中国進出を仲介。一方、2002年よりABC協会の活動を開始。「資格の発行よりも、協会に関わる方々に対して自身(自社)の向上につなげてもらえるような活動や情報・ビジネスを提供することが真の協会像である」と今も変わらぬ当初からのポリシーでアジア各国でも活動を展開。フリープランナー育成や婚礼施設への紹介を行っている。会場コンサルティングの他、貿易実務、米国ウエディング関連著書多数。

校が必要とされていることを実感しました。そこで、日本で協会のカリキュラムや資格を導入したいという提案を協会本部へした結果、2001年11月より協会認定校で授業を開始する運びとなりました。まさに最初は相談を受けた2校のために始まり、本格的に始動したのは2002年4月、私が協会日本代表を任命されたときからです。

福永 本格的にスタートされてから15年が経ちましたが現状はいかがでしょう。

小原 専門学校や大学、ビジネススクールなどで導入いただき、常時稼働クラスは約100におよんでいます。ABC協会認定「ブライダルプランナー検定」の受験者は年間2200人にのぼり、検定合格後、資格取得（＝協会員）とつながります。ABC協会は現在、世界50カ国に6500人以上の協会員が加盟し、日本では1000以上の個人・法人会員を有しています。

福永 ブライダルプランナー以外の科目もあるのでしょか。

小原 アメリカのフラワーアレンジメントを学ぶカリキュラムがあります。大学や専門学校のほか、全国のフラワースクールにて、単に花をアレンジするだけでなく、包括的なデザイン力も兼ね備えたフラワーデザイナーの育成を目指しています。今後ますます、カスタマイズされた結婚式が増え、カップルはウエディングのテーマを掲げ、それに基づいた会場やテーブルアレンジが求められます。技術はもちろんのこと、それ以上にお花を含む全体のコーディネートや提案力が欠かせません。魅せるエンターテインメント性を持つアメリカン・フラワーアレンジメントの魅力や、そのデザイン創作がカリキュラムとして紹介されたことは今までありませんでした。技術に加え、こうしたデザイン力・その提案力の入手は今後の市場で十分に生かすことができます。

福永 技術だけではなく、提案力を身につけるために、さまざまなことを学ぶということですね。ウエディングには多くの知識や感性が求められますので、常に何かを追求していくことは欠かせないでしょう。

小原 3年前よりドレススタイリスト資格の提供も始めました。多くの取引先衣裳店から衣裳スタッフにも資格を持たせたいと声をいただいたことに始まります。衣裳業界にも国際的な資格を提供することが、業界発展に欠かせないことだと思ったのです。衣裳の試着、シミ・汚れ落

としやアイロンがけ、ほつれなどの修繕など多くの地味な仕事がある反面、プロとして最高に輝く花嫁を作り上げるために、俯瞰的に物事を判断し、さまざまな知識でもってベストなコーディネートを実施することも求められます。ファッション業界にはプロは存在しています。ドレス業界にもプロがいてもしかるべきです。現在、ドレススタイリスト資格もプランナーやフラワーデザイナー資格同様、アシスタント・プロフェッショナル・上級・マスターの4段階を設けています。協会認定校では洋装・和装、スタリング等の履修後にドレススタイリスト検定を受験し資格を取得できます。

福永 プランナーに留まらず、フラワーアレンジメントやドレススタイリストなど、幅のある事業展開をされていらっしゃるのですね。

小原 個人とは別に法人会員が増えています。ある大手企業では協会の法人会員制度を利用し社員の3分の2にABC協会の資格を持たせています。社内の昇進制度に重ね離職防止につながる企業もあります。海外研修に協会を活用する企業では貴重な経験から社員の士気を高めることができます。離職率が高く人材不足が深刻化していますが、企業側が社員の育成を充実させることが離職防止に欠かせません。その育成の一環に協会を活用いただけます。法人会員企業には私が直接、社員研修を毎年提供し、資格を入手する社員には国内外の最新かつ有益な情報誌が届きます。毎春秋に全国8カ所で開催するセミナー（2017年春期セミナー参加者計350名超）、年1回の集大成であるコンファレンスには割引参加ができます。また、欧米のみならず、日本市場にも多大な影響を及ぼす中国情報も発信。他にもNY・北京などの海外研修も手配しています。

福永 単に資格を提供することにとどまらず、資格取得後も、協会員に対して手厚くフォローされていていらっしゃるのですね。最後にこれからのウエディングについてひ



とお願ひいたします。

小原 多くのカップルがネットでさまざまな情報を入手でき、オンライン上では同じ施設で婚礼をする花嫁同士がつながり情報を共有する現状においても、なし婚を減らす努力をすどころか、パートナー企業からはさらなる業務委託料（販売コミッション）を得ようとする施設が増えるばかり。これでは時代に逆行するものはなしで、ますます結婚式離れが進むばかりです。それよりも自分自身をセールスすることがプランナーには今後求められ、そのために幾つもの引き出しを持つ必要があり、その一つに資格もあげられます。同時に、これからのお客さま・市場対応力です。今日・明日の成約率アップのための研修・情報は頻繁に提供されていますが、再婚・親が離婚経験を持つ子世代・SNSにはまるジェネレーションZ世代・LGBTなどのこれから婚礼カップル、また日本市場を狙う中国勢動向など、数年先のお客さまや市場を見越した対応策や情報を提供できるのは、世界での先例を知るABC協会のみです。結婚式はお客さまもプランナーも緊張と感動を体感できるからこそ生涯の思い出となる時間となります。緊張と感動を体感するためにもより正しく高度な知識と技術を身につけ、失敗の許されない結婚式を作り上げてほしいと思います。

福永 今後ますますプランナーの資質や提案力、応用力が求められます。世界にも視野を広げられる人材育成を目指していただきたいと思います。今後のご活躍をお祈りいたしております。